

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第4回 守谷市環境審議会			
開催日時	令和8年2月3日(火) 開会：午後2時00分 閉会：午後2時45分			
開催場所	守谷市 庁議室			
事務局(担当課)	生活経済部 生活環境課			
出席者	委員	清野会長、鈴木(榮)委員、飯田委員、月岡委員、中村(純)委員、松井委員、柳澤委員、加藤委員(8名)		
	その他	協力事業者：(株)総合環境計画(2名)		
	事務局	藤坂副市長 鈴木部長、山崎課長、戸崎課長補佐、古谷主査、中村係長、染谷主事(7名)		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 審議事項 (1) 第3次守谷市環境基本計画の策定について 4. 答申書の交付 5. その他 6. 閉会			
確定年月日	会議録署名			
令和8年2月27日	会 長 清野 修			

審 議 経 過

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 副市長挨拶

4. 議題

審議事項

(1) 第3次守谷市環境基本計画の策定について

会 長：「第3次守谷市環境基本計画（案）」のパブリックコメントが終了したので、事務局からパブリックコメント意見に対する回答について説明いただきたい。

事 務 局：資料1「パブリックコメント実施結果について」、資料2「第3次守谷市環境基本計画（案）」について説明する。

【事務局より資料1・2の説明】

《資料1：パブリックコメント実施結果について》

《資料2：第3次守谷市環境基本計画（案）》

会 長：事務局よりパブリックコメントの意見と計画書への反映状況について説明いただいた。パブコメ意見を踏まえて計画書の修正を行わないといったことになるがこれについて委員から意見があればご発言いただきたい。

委 員：資料2、P.44にある方針2における取組の方向性の第2段落部分であるが、この書き方だと外来生物に限定して対策を行うような表現と捉えられる。パブリックコメントの意見であると、守谷市の自然全般について調査をした方がいいということを意図しているため、この回答であると回答のニュアンスがずれているのではないかと思う。

事 務 局：事務局からの提案となるが、「有識者や市民団体等と協力して、本市の自然生態系を把握するため調査方法を検討するとともに、外来生物への対策においても、緊急に対処が必要な生物の侵入防止や根絶等に向けた取組を関係機関と連携して進めていきます。」と文章を修正させていただきたい。このようにすればパブリックコメントの回答としても問題ないと考えられる。

会 長：事務局に提案していただいた修正方針で計画書に反映していただければ問題ないと思われる。また他の部分について回答方針としては、こちらで問題ないと思われるが細かい部分の表現については、今回委員の皆様からご意見いただき、事務局と会長で公表に向けてさらに精査し、一任していただければと思う。

また、2人からご意見いただいたということであったが、その内訳を教えてください。

事 務 局：番号1で1人、番号2から6で1人の合計2名からの意見となっている。

会 長：これまでの環境審議会において皆様からご意見をいただいたものが、この環境基本計画に反映されているのだと思う。質疑について他になれば、次いで答申に進みたいと思う。

今回の環境審議会において示された第3次守谷市環境基本計画（案）は、先ほど飯田委員からご指摘いただいた部分を事務局で修正いただく。今回の答申については、前回の環境審議会でご説明した内容から大きな変更はなく、パブリックコメントを受けての修正は無いため、原案を答申案としてよろしいか。

（一同、賛同）

会 長：それではこちらをもって、第3次守谷市環境基本計画（案）の答申案とさせていただきます。

5. 答申書の交付

6. その他

【事務局より参考資料1～3の説明】

《参考資料1：第3次守谷市環境基本計画 子ども概要版》

《参考資料2：第3次守谷市環境基本計画 表紙案》

《参考資料3：第3次守谷市環境基本計画 概要版》

会 長：環境基本計画にも昨年度実施したアンケート調査結果が載っていたが、環境基本計画の認知率は7%程度になっている。そのため、市民や事業者に対し、環境基本計画を知ってもらう取組を進める必要は重要であると思う。子ども概要版については、守谷市の環境を知ってもらうためにも重要だと考えられるが、市では、市民や事業者に周知する方法などはどのようなものを考えているか。

事 務 局：広報紙やホームページに掲載を予定している。

先日、環境講演会を実施したが100名程度しか集まらなかった。環境に興味のある人はそのような講演会等に集まっていたが、興味のない方に対して情報を周知していくかが課題と考えている。そのような環境情報を発信する場、市民同士のふれあいの場を作っていくことについては引き続き市でも実施していきたいと考えている。

会 長：市民大学でも環境イベントなどに取り組んでいることもあるので、そのような場を用いて、環境に興味を持っていただける人を増やすことも重要だと思う。第2次計画の際はパブリックコメントの件数は20件程度いただけたと記憶している。これについては、策定の段階で様々な環境団体から意見をいただいたり、策定に関わる人たちを増やしていたからだと思っている。普段からそのような取組について環境に興味を持っている人を中心に、市民大学やそのほか勉強会などを開催し、関心を高めてもらえればよいと思う。

委 員：目標の達成に向け、計画の推進をお願いしたい。目標とする指標を定められて次回の見直し時点で達成できていければよいが、進捗が難しい部分も出てくると思う。そのようなときに、資料編P.90に示しているような、各指標の目標値設

定の考え方に立ち戻り、進捗状況の把握やうまくいっていない指標などの点検を含めて引き続き行っていただきたい。

事務局：第2次計画の進捗状況を把握する方法としては、環境報告書に示されている様々な数値目標の中から、環境基本計画の進捗を表す部分を抽出し、進捗を把握している。第3次計画について計画は出来上がったが、その後の進捗管理における部分について庁内の各担当課と連携し、方法などを検討していきたい。

会長：それでは本日の会議を終了する。

7. 閉会